

製品名: p63 (3J16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15659**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	77kDa

抗原情報

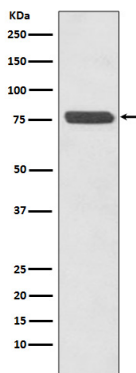
遺伝子名	TP63
別名	EEC3; KET; LMS; SHFM4; TA p63 alpha; TP63; p51; p73H; p73L; tumor protein p63;
遺伝子 ID	8626.0
SwissProt ID	Q9H3D4
免疫原	ヒト p63 の合成ペプチド

背景

配列特異的な DNA 結合転写活性化因子または抑制因子として機能します。アイソフォームには、さまざまなトランス活性化ドメインと自己制御トランス活性化阻害ドメインのセットが含まれており、アイソフォーム固有の活性を示します。アイソフォーム 2 は RIPK4 転写を活性化します。遺伝毒性の損傷や活性化癌遺伝子の存在に応答して p53/TP53 依存性アポトーシスを開始するには、TP73/p73 との併用が必要になる場合があります。おそらく JAG1 および JAG2 を誘導することにより、Notch シグナル伝達に関与します。上皮形態形成の調節に役割を果たします。配列特異的な DNA 結合転写活性化因子または抑制因子として機能します。アイソフォームには、さまざまなトランス活性化ドメインと自己制御トランス活性化阻害ドメインのセットが含まれており、アイソフォーム固有の活性を示します。アイソフォーム 2 は RIPK4 転写を活性化します。TP73/p73 との連携により、遺伝毒性刺激や活性化がん遺伝子の存在に対する p53/TP53 依存性アポトーシスの開始に必要な可能性がある。JAG1 および JAG2 を誘導することで Notch シグナル伝達に関与すると考えられる。上皮形態形成の調節に関与する。DeltaN 型および TA*型アイソフォームの比率は、上皮幹細胞区画の維持を制御し、未分化胚性外胚葉からの上皮層化の開始を制御すると考えられる。頂端外胚葉隆起からの肢形成に必要である。p21 プロモーターの転写を活性化する。

研究分野

画像データ



A431 細胞溶解物中の p63 発現のウェスタン ブロット分析。